

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 43 週(10 月 22 日～ 10 月 28 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- インフルエンザに感染しないようにするためには
- 気になる話題「RS ウイルス感染症」

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.94	(2.50)	↗	→	↗	↗↗
2	RS ウイルス感染症	1.59	(2.18)	↘	↘	↘	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.32	(1.12)	↑	→	↑	↗↗
3	手足口病	1.32	(1.24)	→	→	↗	↓
5	インフルエンザ	0.49	(0.07)	↗↗	↗↗	↓	↗↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数が増加しています。奈良市保健所管内では定点当たり報告数が1.0を超えています。また、RSウイルス感染症も報告数が多い状態が続いています。ともに、感染経路は飛まつ感染と接触感染です。マスク・手洗い等の感染予防を心がけるようにしましょう。

感染性胃腸炎は報告数が徐々に増加しており、年齢を問わず報告があります。有効な予防方法は手洗いですので、調理前やトイレの後など、流水と石けんによるこまめな手洗いを行いましょう。また、食品を生で食べることは避け、よく加熱して食べるようにしましょう。

インフルエンザに感染しないようにするためには

- 流行前のワクチン接種
- 外出時のマスクの着用
- 帰宅時や調理時、食事前の手洗い
- 適度な湿度の保持
- 十分な睡眠と栄養のとれた食事
- 人混みや繁華街への外出を控える

急に 38 度以上の発熱が出て、咳やのどの痛み、全身の倦怠感を伴うなどインフルエンザが疑われる症状が出たときは、早めに医療機関を受診しましょう！

◎厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index.html

イラスト出典: 首相官邸ホームページ

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansenshou/influenza.html>)



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 43 週 10 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	27 (0.49)	23 (1.64)	2 (0.14)				1 (0.50)	1 (0.25)
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	54 (1.59)	12 (1.33)	5 (0.56)	27 (3.86)	10 (1.67)			
咽頭結膜熱	16 (0.47)	5 (0.56)	1 (0.11)	2 (0.29)	8 (1.33)			
A群溶連菌咽頭炎	45 (1.32)	9 (1.00)	4 (0.44)	1 (0.14)	28 (4.67)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	100 (2.94)	18 (2.00)	25 (2.78)	24 (3.43)	29 (4.83)		4 (2.00)	
水痘	13 (0.38)	3 (0.33)	4 (0.44)	4 (0.57)	1 (0.17)	1 (1.00)		
手足口病	45 (1.32)	9 (1.00)	14 (1.56)	5 (0.71)	17 (2.83)			
伝染性紅斑	4 (0.12)			2 (0.29)	1 (0.17)		1 (0.50)	
突発性発しん	15 (0.44)	4 (0.44)	1 (0.11)	7 (1.00)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ	13 (0.38)	1 (0.11)	3 (0.33)	3 (0.43)	6 (1.00)			
流行性耳下腺炎	4 (0.12)	3 (0.33)		1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	9 (0.90)		5 (1.67)	2 (1.00)	2 (1.00)			
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)		1 (0.50)				5 (5.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市3、郡山2、中和1)
3類感染症	細菌性赤痢1件(奈良市1) 腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1) 播種性クリプトコックス症1件(奈良市1) 風しん2件(奈良市1、郡山1)

❖ 第43週のトピックス ❖

◆風疹流行に関する緊急情報:2018年10月24日現在
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/181024/rubella181024.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

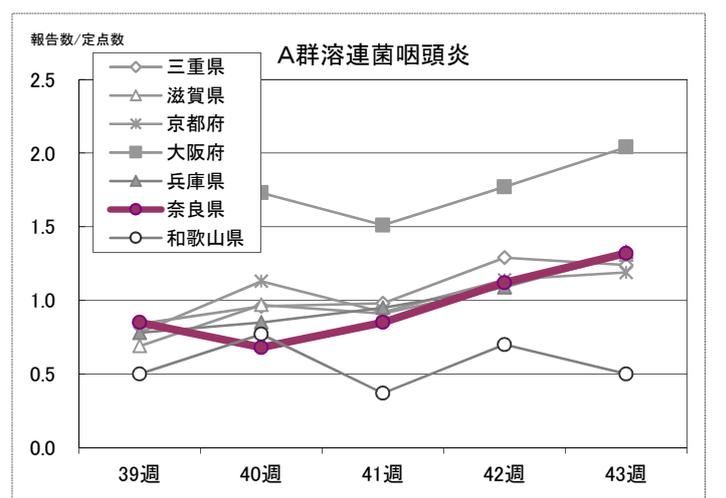
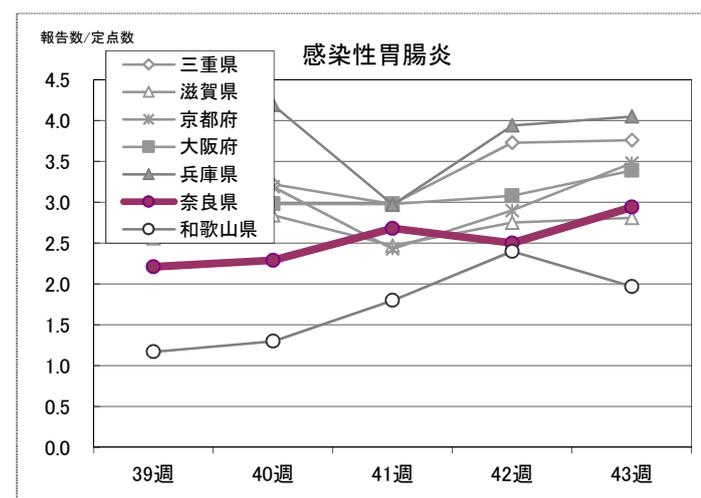
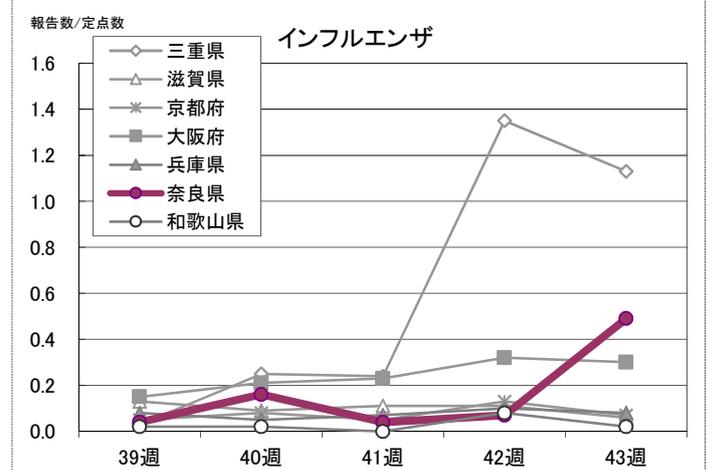
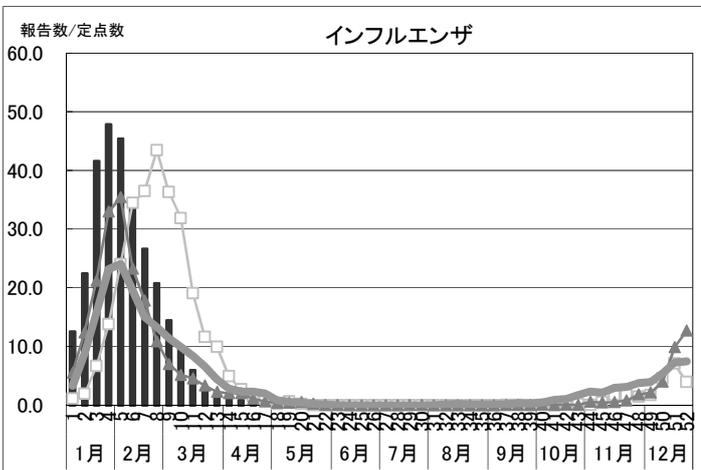
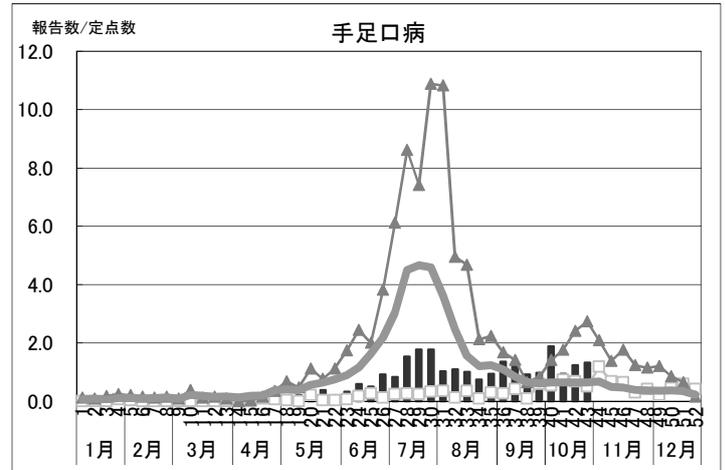
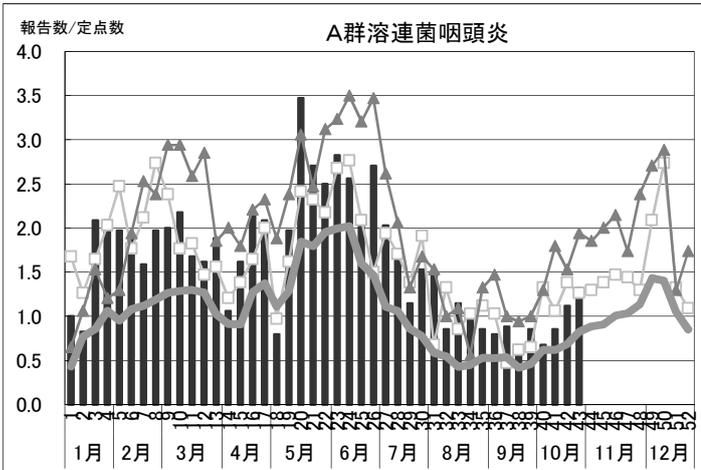
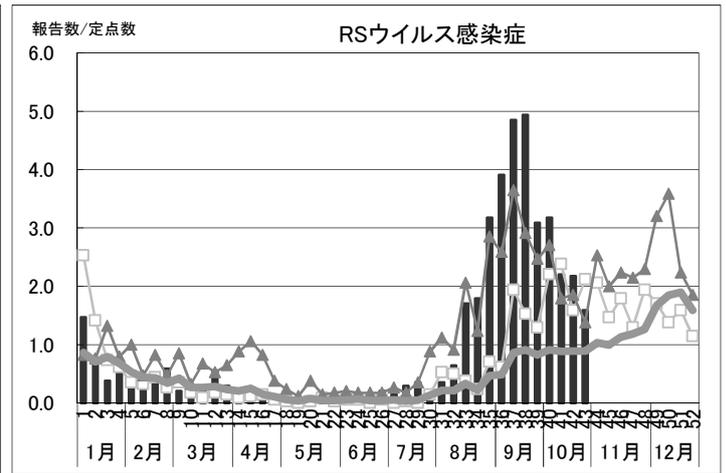
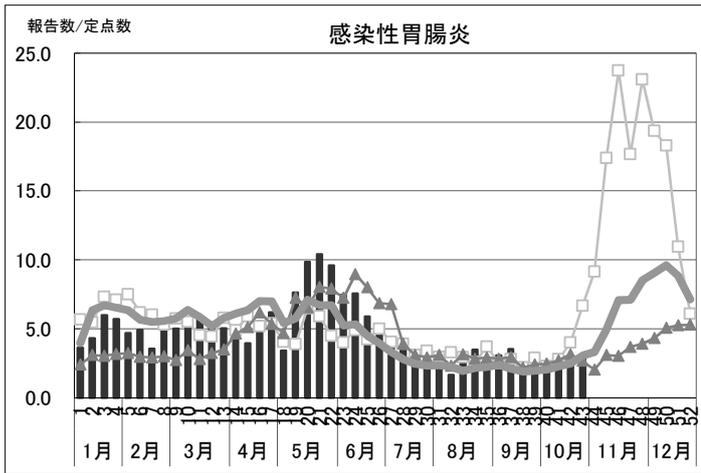
上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1		1	3															8	7866
	女	1		1	1	2		2	3	1	2		4		1		1			2		19	7848
RSウイルス感染症	男	4	8	10	4	2																28	751
	女	1	4	9	8	2		2														26	685
咽頭結膜熱	男			2	1	2							1									6	284
	女			3	2	1		2	1													10	252
A群溶連菌咽頭炎	男		2		3	2	5	1	3	2	3	5			1							27	1278
	女			1		5	4	3	1	1	1	2										18	1108
感染性胃腸炎	男		3	9	7	8	2	6	1	1		2	2	1	5							47	3638
	女	1	6	10	2	2	4	1	6	2		2	6	2	9							53	3214
水痘	男					1		1				1										5	172
	女		1	1			3	1				2										8	188
手足口病	男		1	6	11	3	3		1	1		1										27	498
	女		2	8	4	4																18	368
伝染性紅斑	男							1														1	116
	女					1		1	1													3	122
突発性発しん	男		1	2	1	1																5	314
	女		4	4	1	1																10	297
ヘルパンギーナ	男		1	2	1	1	1															6	496
	女		1	1	2	2	1															7	419
流行性耳下腺炎	男							1														2	56
	女						1				1				1							2	43
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						1
流行性角結膜炎	男						1	1								1	1	1				5	143
	女											1			2	1						4	149
細菌性髄膜炎	男																					6	6
	女																					6	6
無菌性髄膜炎	男																					4	4
	女																					4	4
マイコプラズマ肺炎	男		1		3	1																5	25
	女				1																	1	22
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						33
	女																						23

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均



RSウイルス感染症

RSウイルス感染症とは

気管支炎や肺炎を起こす呼吸器感染症です。

生涯にわたって何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1ヶ月までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が感染するとされています。年長児や成人では、鼻水や咳などの軽い風邪程度の症状がみられますが、初めて感染した乳幼児や、慢性呼吸器・心疾患を合併する高齢者は重症化しやすく、高齢者ではインフルエンザと同等の死亡率と言われています。

全国では例年冬期に報告数のピークが見られ、夏季は報告数が少ない状態が続いていました。しかし2011年以降、7月頃から報告数の増加傾向がみられており、奈良県でも同様の傾向があります。また、県内では今年の9月時点で患者の報告数が昨年や一昨年のピーク時を上回っています(右グラフ)。

例年年末まで流行が続いており、注意が必要です。

感染経路

飛まつ感染 感染している人の咳やくしゃみ、また会話をした際に飛び散ったしぶきを吸い込み、感染します。

接触感染 感染している人との直接の濃厚接触や、ウイルスがついている手指や物品(ドアノブ、机、椅子、おもちゃ、コップ等)を触ったりなめたりすることにより間接的に感染します。

予防

二度目以降の感染では症状が軽くなることがあり、年長児や成人ではRSウイルス感染症だと分からないことがあります。

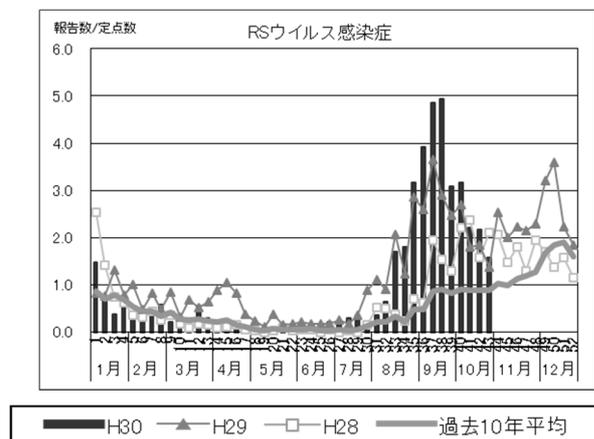
鼻水・咳などの症状がある年長児や成人は、可能な限り乳幼児や高齢者との接触を避けることが必要です。

飛まつ感染対策 流行時期はもちろん、流行時期でなくても、咳などの呼吸器症状がある場合は鼻と口の両方を確実に覆い、正しくマスクを着用しましょう。使用後のマスクは放置せず、すぐにゴミ箱に捨てることも大切です。

接触感染対策 子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石けんによる手洗いかアルコール製剤による手指衛生を行いましょう。



奈良県内のRSウイルス感染症報告状況



(感染症情報センター)